

東條英毅 ひょうじょう 陸軍軍人。大正二年出羽國庄川、大正三年坂(一八五

一八九三)。明治二十五年南滿洲の陸軍。十七年陸軍大學校に入學、ドイツ

入教官メックマンの師シテ。ドイツの軍事學を専攻し、少佐(一八八八)、陸大教官(一九

〇〇)の職務を兼。日清戦争の時は大本營參謀、戦後「日清戦争」の編纂委員。

日清戦争の海軍を撰(一)留子近衛第一旅團長。中將。東條英毅の父。

著書「心譜戦役名將文集・第一編」(一八八七)、菅原深次翁著、明治二十二年

四月、二十九日愛知・管軍文社)等。